

福島第一原発事故から12年
それでも、人も自然もたくましく
道を探りながら、未来へと生きる



写真：藤田 篤男
2021年11月撮影

福島を正しく伝える写真パネル巡回展 ～大地と人の力～

2023年2月24日～各地巡回
福島 → 東京 → 仙台 → 東京

入場無料

※詳細は裏面をご覧ください

- 主催 認定NPO法人 未来といのち
- 助成 福島県ふるさと・きずな維持・再生支援事業
- 後援 NPO法人 民俗芸能を継承するふくしまの会 / 浪江町 / 葛尾村 / 川俣町山木屋 / 宮城県 / 東京都

お問い合わせ

YouTube 同日公開

詳しくは
webにて

公式HP



Facebook



認定NPO法人
未来といのち

✉ miraitoinochi@gmail.com

☎ 080-5386-1373

福島を正しく伝える写真パネル巡回展 ～大地と人の力～

福島をできるだけ正しく伝える

東日本大震災の記憶も薄れ、特に原発事故による被害の記録は、福島県内でも県外でも、十分に伝えられていません。

原子力災害は、かつてないほど時間軸の長い人災です。

私たち「未来といのち」は、2011年から原発事故の被災地に入り、そこで起きた様々な事柄を撮影や聞き取りを通して記録してきました。その記録をパネルや動画にして展示し、福島、東京、仙台を巡回します。

原発事故の立ち入り禁止区域でどのような事が起きているか、未だ帰還困難区域が広がる阿武隈高地の、震災前後の人々の様子、復興状況、福島県のどこが放射能で汚染されているのかなどを伝えます。それにより風評被害の払拭につながり、また多くの人たちに原子力災害や

災害復興で取り組む問題を共に考えてもらう契機になればと、今回の展示事業を企画しました。

また、東北の大切な文化である伝統芸能も被災により存続の危機にあります。帰還困難区域である浪江町津島に伝わる田植踊や神楽の公演や映像展示を通して、福島県無形文化財に指定されている伝統芸能保全の取り組みを紹介します。

展示物制作にあたっては、浪江町はじめ近隣の住民の方々の多大なご協力を得て収集した写真や資料も多く使わせていただきました。感謝いたします。

※ご希望の来場者には、無料の冊子「福島をできるだけ正しく伝える」をさしあげます。

2023年巡回スケジュール

2月24日(金) ～26日(日)	ふくしま AOZ (アオウゼ) 多目的ホール		〒960-8051 福島県福島市曾根田町1-18 MAXふくしま4階	アクセス 
	10:00-17:00	公演 2月26日(日)12:00～12:30 「南津島郷土芸術保存会 神楽ひよつとこ」		
3月4日(土) ～5日(日)	東京国際フォーラム ロビーギャラリー(ガラス棟 B1)		〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-5-1	アクセス 
3月8日(水) ～11日(土)	エル・パーク仙台		〒980-8555 仙台市青葉区一番町4-11-1 141ビル(仙台三越定禅寺通り館)6階	アクセス 
10:00-19:00 最終日は18:00まで	公演	3月11日(土)13:30～ 「南津島郷土芸術保存会 田植踊」※東北学院大学文学部歴史学科の学生が共演 NPO法人 民俗芸能を継承するふくしまの会 理事長 懸田弘訓 解説		
3月16日(木) ～19日(日)	早稲田奉仕園ギャラリー & スコットホール		〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-1	アクセス 
	10:00-18:00	公演 3月19日(日)13:00～14:00 ライブ公演「私はいちゃんのランドセル」 朗読・菊池和子(作者) / 演奏・大島左千子(作曲家)		
	パネル ディスカッション	3月19日(日)14:00～16:00 「原発事故(チェルノブイリ～福島)と地域」山中知彦(新潟県立大学教授) 「風評被害について&復興の中の生活」認定NPO法人 未来といのち		